

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 5 月 18 日 (2006.5.18)

【公開番号】特開 2003-126350 (P2003-126350A)
 【公開日】平成 15 年 5 月 7 日 (2003.5.7)
 【出願番号】特願 2001-327516 (P2001-327516)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 V

A 6 3 F 5/04 5 1 2 H

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 3 月 24 日 (2006.3.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】遊技球を用いて 1 ゲームに対して所定単位の賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、表示状態を変化させることが可能な可変表示装置の表示結果が導出表示されることにより 1 ゲームが終了し、該可変表示装置の表示結果に応じて所定の入賞が発生可能な遊技球を用いたスロットマシンにおいて、
遊技球の取込を行う取込装置と、
前記取込装置に供給される遊技球が待機する遊技球待機部と、
前記賭数を指定する際に操作される賭数設定操作手段と、
前記賭数設定操作手段が操作されたときに、前記取込装置の取込動作により遊技球を取り込むための取込制御を行う取込制御手段と、
前記取込装置の取込動作により取り込まれた遊技球を検出する取込球検出手段と、
前記取込装置の取込動作により前記取込球検出手段にて検出された遊技球数が、1 単位の賭数を設定するのに必要な単位球数に到達することにより 1 単位の賭数の設定を行う賭数設定手段と、
遊技球が返却される遊技球返却部と、
前記遊技球待機部から前記取込装置に供給された遊技球を前記遊技球返却部に返却させる際に操作される返却指示手段と、
前記返却指示手段が操作されたときに、前記取込装置の返却動作により該取込装置に供給された遊技球を前記遊技球返却部に返却させるための返却制御を行う返却制御手段と、
を備え、
前記取込制御手段は、
前記賭数設定操作手段が操作されることにより、前記遊技球待機部に遊技球が待機しているか否かに関わらず、前記取込動作を前記取込装置に行わせる取込動作制御手段と、
前記取込動作が終了した後に前記取込球検出手段により検出された遊技球数が前記賭数設定操作手段により指定された賭数を設定するのに必要な数を満たすか否かを判定する取込球数判定手段と、
前記取込球数判定手段により前記指定された賭数を設定するのに必要な数に満たないと判定されたときに、前記取込動作を前記取込装置に再度行わせる取込動作再制御手段と、
を含み、
前記返却制御手段は、前記返却指示手段が操作されることにより、前記遊技球待機部に

遊技球が待機しているか否かに関わらず、前記返却動作を前記取込装置に行わせる、
ことを特徴とする遊技球を用いたスロットマシン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明の遊技球を用いたスロットマシンは、
遊技球（パチンコ球）を用いて1ゲームに対して所定単位の賭数を設定すること（1、2、3のいずれかが賭数として設定されること）によりゲームが開始可能となるとともに、表示状態を変化させることが可能な可変表示装置（可変表示装置50）の表示結果が導出表示されることにより1ゲームが終了し、該可変表示装置の表示結果に応じて所定の入賞が発生可能な遊技球を用いたスロットマシン（スロットマシン1）において、
遊技球の取込を行う取込装置（取込装置700）と、
前記取込装置に供給される遊技球が待機する遊技球待機部（上皿7）と、
前記賭数を指定する際に操作される賭数設定操作手段（MAX BETボタン36b、1BETボタン36a）と、
前記賭数設定操作手段（MAX BETボタン36b、1BETボタン36a）が操作されたときに、前記取込装置（取込装置700）の取込動作（取込モータ701の駆動）により遊技球を取り込むための取込制御（取込処理）を行う取込制御手段（遊技制御部210）と、
前記取込装置の取込動作により取り込まれた遊技球を検出する取込球検出手段（取込球検出スイッチ704）と、
前記取込装置の取込動作により前記取込球検出手段にて検出された遊技球数が、1単位の賭数を設定するのに必要な単位球数（5球）に到達すること（取込済カウンタが5に到達すること）により1単位の賭数の設定を行う（賭数カウンタを1加算する）賭数設定手段と、
遊技球が返却される遊技球返却部（下皿11）と、
前記遊技球待機部（上皿7）から前記取込装置（取込装置700）に供給された遊技球を前記遊技球返却部（下皿11）に返却させる際に操作される返却指示手段（精算ボタン37a）と、
前記返却指示手段（精算ボタン37a）が操作されたときに、前記取込装置（取込装置700）の返却動作（排出経路を返却側へ切り替えた状態での取込モータ701の駆動）により該取込装置に供給された遊技球を前記遊技球返却部（下皿11）に返却させるための返却制御（精算処理）を行う返却制御手段（遊技制御部210）と、
を備え、
前記取込制御手段は、
前記賭数設定操作手段（MAX BETボタン36b、1BETボタン36a）が操作されることにより、前記遊技球待機部（上皿7）に遊技球が待機しているか否かに関わらず、前記取込動作（取込モータ701の駆動）を前記取込装置（取込装置700）に行わせる取込動作制御手段と、
前記取込動作（取込モータ701の駆動）が終了した後に前記取込球検出手段（取込球検出スイッチ704）により検出された遊技球数が前記賭数設定操作手段により指定された賭数を設定するのに必要な数を満たすか否かを判定する（取込球カウンタの値が0か否かを判定する）取込球数判定手段と、
前記取込球数判定手段により前記指定された賭数を設定するのに必要な数に満たないと判定されたとき（取込球カウンタの値が0ではないと判定されたとき）に、前記取込動作（取込モータ701の駆動）を前記取込装置（取込装置700）に再度行わせる取込動作

再制御手段と、

を含み、

前記返却制御手段は、前記返却指示手段（精算ボタン 37a）が操作されることにより、前記遊技球待機部（上皿 7）に遊技球が待機しているか否かに関わらず、前記返却動作（排出経路を返却側へ切り替えた状態での取込モータ 701 の駆動）を前記取込装置（取込装置 700）に行わせる、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、賭数設定操作手段が操作された場合には、遊技球待機部に遊技球が待機しているか否かに関わらず取込装置による遊技球の取込動作が行われるようになるため、従来の遊技球を用いたスロットマシンに比較して遊技球の取込を速やかに行うことが可能となり、遊技を円滑に進行することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

1 B E T ボタン 3 6 a は、クレジット球カウンタのクレジット球数、または上皿 7 に載置されているパチンコ球から最小単位の賭数である 1 B E T 分（5 球分）をゲームに賭ける際、または 1 B E T 分のパチンコ球を取り込んでクレジット球数に加算させる際に押圧するボタンであり、M A X B E T ボタン 3 6 b は、1 ゲームにおいて許容される賭数の最大数（本実施例では 3 B E T 分）をクレジット球カウンタのクレジット球数、または上皿 7 に載置されているパチンコ球の範囲内でゲームに賭ける際、または 3 B E T 分のパチンコ球を取り込んでクレジット球数に加算させる際に押圧するボタンである。1 B E T ボタン 3 6 a の内部には B E T ボタンランプ 1 2 1 a が、また、M A X B E T ボタン 3 6 b の内部には B E T ボタンランプ 1 2 1 b がそれぞれ内蔵されており（図 6 参照）、これらの B E T ボタンランプ 1 2 1 a、1 2 1 b は、対応する B E T ボタンの操作が有効である場合に点灯し、無効である場合に消灯する。

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 6 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 6 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 6 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 2 6 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 9】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 2 6 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 2 6 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 2 6 8
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 2 6 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 2 7 0
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 2 7 1
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 2 7 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 6】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 2 7 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 7】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 2 7 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 8】
【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 8 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 2 8 9 】

本発明によれば、賭数設定操作手段が操作された場合には、遊技球待機部に遊技球が待機しているか否かに関わらず取込装置による遊技球の取込動作が行われるようになるため、従来の遊技球を用いたスロットマシンに比較して遊技球の取込を速やかに行うことが可能となり、遊技を円滑に進行することができる。

【手続補正 2 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 9 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 9 1

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 9 2

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 9 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 9 4

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 9 5

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 9 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 9 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 9 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 9 9

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 3 0 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】